

# 花まるだよ!



2024

2

INDEX

高瀬コラム

作文コンテスト

レイソポータータイム

なぞとき探偵団

職人の無人島レポート

花まるリビング

おはなしのキッチン

平沼純の旅する読書

タカラモノはここに

Rinコラム

とある花まるの先生が、  
わが子の中学受験に直面した

花まるコラム

花まるファミリー





## おせっかい

能登半島地震に飛行機事故と、大荒れの正月として一年がスタートしました。すぐに「一年の計は元旦にありと言っし、今年は大変な年になるのでは」というような、非科学的な不安を煽る言説がSNSで飛び交うなど、メンタルの弱い人には体に悪い幕開けであったかもしれません。

しかし、この二日間を過ぎて私が感じたのは、この国は大丈夫だということですが、まず地震ですが、確かに大きかったし、半島で山間という特異な地形ゆえの交通遮断の問題が深刻だとか、古い木造建築の町の脆弱さや火災の広がりやすさが露見したというような問題はあったし、いくつかの自治体には復興への長期的課題がのしかかっている現状ではあると思いますが、国家全体として被災対応については進化を感じました。マグニチュード9を超す「10000年に一度」の東日本大震災で言われたのは、大地が1000年くらいのオーダーで「活発期」に入ったのであろうし、その期間は震度7を超す大地震や噴火等が各地で時を置いて繰り返されるだろうということだと思います。熊本地震や今回の能登半島地震は、その通りになっているだけです。

数欲しさの「デマ流布や、火事場泥棒的な屋根修理詐欺などを起こす哀れな人間はいるにはいましたが、大多数は助け合いの精神を発揮し、被害のない地域からは簡易トイレを載せたトラックなど、一斉に支援の行動が起りました。にもかくにもと個人が助けたい善意でボランティアとして入り込んで、美談のようで実は交通渋滞を引き起こしたというように多くの過去の経験から、送るものも古着や干羽鶴などでない、必需品かつまとまった単位で送ってもらうよう即座に要望が出されるなど、いろいろな点で確実に大地震対応のレベルが上がったとも感じました。

もともとそうなのだけれど、この火山だらけの島国に住む我々は、時々の大災害は「あるもの」として受け入れ、何度でも何度でも復興してきたのです。いたずらに不安を煽る言説には惑わされなくて、元氣な地域の人は自粛などせずどんどん経済を回し、傷ついた方々への寄り添う気持ちを忘れず、惜しみない支援を続けるべきなのでしょう。

また、航空機事故は、たくさん感じるものがありました。まず飛行機同士の接触による大きな爆発と火だるまになって滑走路を走ってくるJAL機のテレビ第一報の画面を見たときに、すぐに感じたのは「あー、これは最悪の事故だな。犠牲者の数は大変なことになるぞ」ということでした。しかしやがて「乗客乗員は全員無事」という情報が入りました」という続報が。「いや、それはないだろう」と誤報として受け取りましたが、事実でした。

## 新刊情報

## 『マンガでわかる! 10才までに覚えたい四字熟語と故事成語800』

高濱 正伸・田畑 敦子 監修 (永岡書店)



日常でよく使われる言葉を中心に、四字熟語530語、故事成語270語を取り上げています。マンガと一緒に読むことで、言葉と意味を結びつけて覚えられます。読解力の下支えとなる「語彙力」。この一冊で語彙が増え、読書習慣が身につくほか、中学受験にも役立ちます。

## 『教養としての歴史小説』

今村 翔吾 著 (ダイヤモンド社)



「〇〇が苦手です。どうすればできるようになりますか」と子どもの学力に関する相談を受けることが多いのだが、「その科目のおもしろさや感動を伝えられる大人に触れること」と答えている。もしわが子が歴史が不得意であれば、本書をお薦めする。小学生時代に『真田太平記』に出合ってから、歴史小説のとりこであった著者。「もう読む小説がなくなるのではと心配した」というエピソードなど、情熱の輝きに満ち満ちている。歴史小説は、知識量が増えることにとどまらず、生き方を学べるビジネスに役立つ教養が深まると説明しているが、「心底大好きだ」ということがヒンヒシと伝わるこそが、この書の大きな価値だろう。

高濱の本棚

れもこれも、本当に感動するレベルではないものでした。関係するみんながこんな態度で対応することのできる乗務員や乗客が、ほかの国で一つでもあるだろうかという、「集団としての強さ」の事例を歴史に残しました。これは、学校で掃除をしたりきちんと並んだりするなどの教育の成果であり、自信を持って良い価値だと感じました。

そして、何よりすごいと思うのは、15年くらい前の、会社としての破産があったにもかかわらずここに至ったという生命体としての会社の再生具合です。稲盛氏や特別編成された経営改革チームが、いかに慧眼で、的に命中する。一手一手を再生の初手として打っていたかということを感じさせられて、一経営者として私は、そのことに何よりも感動します。最新ニュースとして、もと子会社出身の短大卒のC Aさんが社長になるという一報も入ってきました。その前の社長もパイロット出身であることから、組織体として柔軟で実力主義で過去の偏見を払拭した強さを備えたことが伺えます。その組織としてより健全で丈夫になる流れのなかで、事故対応の大規模研修施設の設立もあったし、その施設での手を抜かない毎日の厳しい研修の積み重ねの実態があったからこそ、一連の尊敬すべき事故対応があったのだでしょう。

私たちは大丈夫だ、と感じざるをえませ

ん。ことさらに個人として自立とうとはいえないけれど、反省を生かし組織として真摯な研修を実現し、結果として強靱な組織を作り上げること成功したJALの事例は、多くの会社人にも勇気を与えるし、国全体としても希望を与えると感じます。

まもなく新年度です。一つの事象を見て嘆いたり批判したりするだけではなく、良い一面を見るとか、何か一つでもそこから学ぶなど、肯定的な見方で希望を見つめる日々を過ごしていきたいですね。世界を肯定的にとらえられる子どもたちを育てるために。

さて、私の本年の一つのテーマは「おせっかい」です。この欄で書いたこともありましたが、この2年くらいで数件の夫婦喧嘩（というより離婚危機）の仲裁に入ったのですが、その多くが仲直りし、なかにはむしろ以前より仲良くなったご夫婦すらあります。私がやったのは、「解決しよう」というのではなく「間に入って、双方の話を一つひとつ繰り返し戻したり要約したりする」ということだけです。しかしこれは有効でした。二者だけで向かい合っていると感情のぶつかり合いや揚げ足取りになったりして対立構造からなかなか抜けられないのが、一人の第三者がそこにいるだけで当事者二人の気持ちの流れが変わる。その事実

は大きいなと思っています。

たまたま大会社をやめて、花まるグループにないカードである「家庭教師事業」を起こそうという若者がいるのですが、彼はどう言いました。いまの大会社でも、意義ある業務で不満があるのではないが、たまたま週末の副業として家庭教師をやってみたとこころ、一人の教え子がいることがこんなに幸せなのかと感じて、「教え子一人を持つ感動」を企業人たちに感じてもらえる家庭教師事業は成立するのではないかというのが、彼のアイデアなのです。そして付け加えて言ったのが、「何かを教える」以上に、「保護者と子どもの間に入って、仲を取り持つ存在としての家庭教師」に存在意義が生まれている時代なのでは、ということ。私の夫婦仲裁と同じ構造。これは時代を打っているなど感じますし、世界の平和にもつながる「おせっかい構想」ではないかと感じています。

ほかにも山ほどやりたいことだらけですが、素敵な若者が一人またひとり集まってくるこの流れを大切に、一日一日を大切に

花まる学習会 高濱正伸

## 花まる学習会 公式PVができました！ 「キミに花まる！」

花まるっ子たちの笑顔と躍動、奮闘をお届けします！

### 花まるだより 2024年2月号

(令和6年2月15日発行)

編集・発行 株式会社こうゆう

花まる学習会

発行人 高濱正伸

企画・編集 久慈菜津紀

編集 金井彩・清田奈甫

坂田翔・高橋奈穂

デザイン 春日梨沙・西野奈布子

印刷 アークランド株式会社



NEW!

「無人島編」



# 受賞者発表!

大変お待たせいたしました。今年度の「花まる作文コンテスト」花まる大賞と学年優秀賞の受賞者をお知らせいたします。今回は、約13,000作品から、以下の子どもたちの作品が選ばれました。おめでとうございます!

子どもたちが自分の気持ちを精一杯表現した作文。選ばれた作品は、3月にお渡しする『作文コンテスト優秀作品集』に掲載いたします。下記以外にも「学年賞」として多数の作文が作品集に掲載されますので、楽しみにお待ちください。

## 2023年度 作文 コンテスト

### 花まる大賞(8名)

1年 中西 陽菜 (流山おおたかの森・木)

2年 秋山 紬希 (三愛幼稚園・金)

2年 芦澤 叶望 (柏の葉こども園・金)

3年 梅本 龍 (花まるオンライン・木)

4年 入江 美月 (浦和つくし幼稚園・水)

5年 諸岡 遥哉 (花まるオンライン・火)

6年 岡部 咲愛 (高津・月)

6年 樋下 祐 (みたけ台幼稚園・水)

### 学年優秀賞(42名)

1年

石田 瑠千  
(三好文化幼稚園・水)

井上 葵  
(鳩ヶ谷・水)

北野 暖人  
(妙心寺壽聖院・木)

齋藤 葵  
(東戸塚・木)

澤口 美沙希  
(北千住・土)

下村 史織  
(ひたち学院幼稚園・木)

中澤 心夏  
(葛西・水)

西村 結衣  
(武蔵小杉・土)

増淵 結月  
(浦和つくし幼稚園・水)

峯 晴  
(武蔵浦和・土)

山田 明  
(お茶の水・金)

山本 雅久  
(原川・木)

2年

有田 映  
(綱島・火)

井栗 悠仁  
(花まるオンライン・金)

井上 智晶  
(大森・水)

齊 正道  
(吉祥寺・土)

作野 梓  
(八王子・木)

新庄 真子  
(お茶の水・土)

戸田 ねね  
(六本木ヒルズ・土)

長谷川 義也  
(小石川(明照幼稚園内)・水)

3年

飯島 和希  
(新白岡・木)

伊佐山 理音  
(三好文化幼稚園・水)

城戸 百花  
(旗の台・土)

林田 美玲  
(辻堂・金)

藤田 はな  
(下高井戸・金)

山田 葉里  
(光が丘・金)

4年

飯田 晴香  
(辻堂・土)

小川 沙良  
(新百合ヶ丘・土)

古山 陽咲  
(浦和美園・木)

5年

加藤 壮真  
(北浦和・木)

中山 雛里  
(駒沢大学・火)

安田 佐和  
(月島・土)

米津 祐哉  
(花まるオンライン・水)

渡辺 愛音  
(辻堂・水)

6年

賀谷 脩真  
(新百合ヶ丘・水)

北村 陽世  
(千里中央・水)

島崎 ひかり  
(藤が丘・水)

中村 登志  
(北浦和・土)

平井 閃輔  
(柏・金)

三日市 芽玖  
(立川・水)

村岡 茜柃  
(柏の葉こども園・金)

吉原 和輝  
(海浜幕張・水)





# 花まる大賞

お母さん

一年 中西陽菜

私はお母さんが大好きです。

だから毎日だきついています。お母さんも私が大好きでいつもいつもいます。ちょっとお母さんのぐあいがあるとき、私がお母さんにふとんをかけてあげます。そのときお母さんは、「なんかあったかいとおもったら。」といます。そのときに私は、「私がママのおせわしてあげます。」といます。お母さんは「ありがと。」といます。私は、「エへへ。」といます。そのときお母さんは、「ちょっとぐあいいおあったかもしれない。」といます。そのときお母さんは、「ニコッとえがおになりました。私はうれしかったです。私は「ほんとう。」とききます。そのときお母さんは、「おせわありがとね。」といます。そのときお母さんはふとんをあけて「こつちおいで。」といます。そしたら私はふとんの中に入ります。あったかいです。みなみみたいにあったかいです。私は、お母さんがずっと大好きです。ずっと一しよにいたいんです。

## 僕がまん才をする理由

五年 諸岡遙哉

「べつともありがとごなりました。」

まん才が終わったときの達成感がたまらない。だから僕は学校のお楽しみ会やお別れ会で必ずまん才をする。今までに十三回チャレンジしてきた。

その中で色々な工夫をしてきた。最初の方は、まん才をしていると中で面白くなってしまい、僕が笑ってしまって、テンポを乱してしまったこともあった。それ以来、まん才は笑いをこらえるようにがんばっている。

笑いを生み出すには、つまることなくテンポよく話すことが大切だと気づいた。だから、ネタをしっかりと暗記してかまいないように練習した。最近はやゆうが生まれてきて、みんなの方を見ながらまん才をすることもできるようになってきた。そうすると、お客さんの反のうをみながら話ができるようになってきた。このように回を重ねるごとに変化してきたのだ。

僕は小学校を卒業するまでずっとまん才をやり続けるはずだ。なぜなら、みんなが笑っている姿を見るのが好きだから。みんなが笑っていると僕もうれしくなるからだ。お別れ会の終りばんで引っこしする子や先生とお別れする悲しい時間になるけれど、最初くらいはみんなが笑ってワイワイしたいからまん才をする。そうしたら、悲しだけの気持ちにならずにすんで、楽しい思い出もついでくると思うからだ。小学校の楽しい思い出の一つに僕のまん才が残っていてくれたらとてもうれしいなあと思う。

## 一年たって変わったこと、変わらなかったこと

六年 岡部咲愛

私は、去年の作文コンテストで、おぼがなくなってしまうたことを書きました。それから一年がたち、変わったことや変わらなかったことを今から書きます。

変わったことは、私自身の気持ちです。もともと、友だちが友だちに「死ね」と言った時、「あ、ダメだな。そういうこといっちゃ」と思っていました。でも、今はそんなことを、目の前で言っていた時、私はこんなことを言いました。

「それで本当に死んだ時、責任とれんの？どれだけ家族が悲しむか、分かってないんだね」と言いました。その時はとてもイライラしていました。最近では、もう少しおだやかにになりました。

それと、おぼのことは気がるに話せるようになりました。そして、変わらなかったこと。それは、少しのこうかいと、悲しさです。

少しのこうかいは、もっとたくさん話しておけばよかったなということ、私がスパーマンだったらよかったのに、ということ。私がいとこの中でも、末っ子だからかもしれないけど、あまり色んなところに一緒にいけず、二人だと少し気まずかったりしました。なので、たくさんいろんなことを話しておけばよかったなとこうかいしています。そして、スパーマン。スパーマンになっていたなら、なれたらいいなと、思っています。死ぬうんめいだったとしても私が今スパーマンになれば、時間をさかのぼって、おぼをひいてしまった車をとめられたらいいなと、いつも思っています。まあそんなことは、かなわないと思うけど…。悲しさは、少しやわらいだけと、まだまだそれになれるのはたぶん、一年後ぐらいだと思います。

ここまで、いろんなことを書きました。少しのこうかいや、自分自身の気持ち。でも、今も昔もこれからも変わらないことがあります。それは、おぼはたくさん幸せをいろうんな人にあたえ、生きていたということです。このことは、これから千年後一万年後になっても変わらないことです。私も、たくさん人に幸せをあたえられたらいいな、と思います。





こんげつ

# 今月のレインボータイム

出題：坂田翔 (花まる学習会)

## 【ぴったりヘキサゴン】

ヘキサゴン



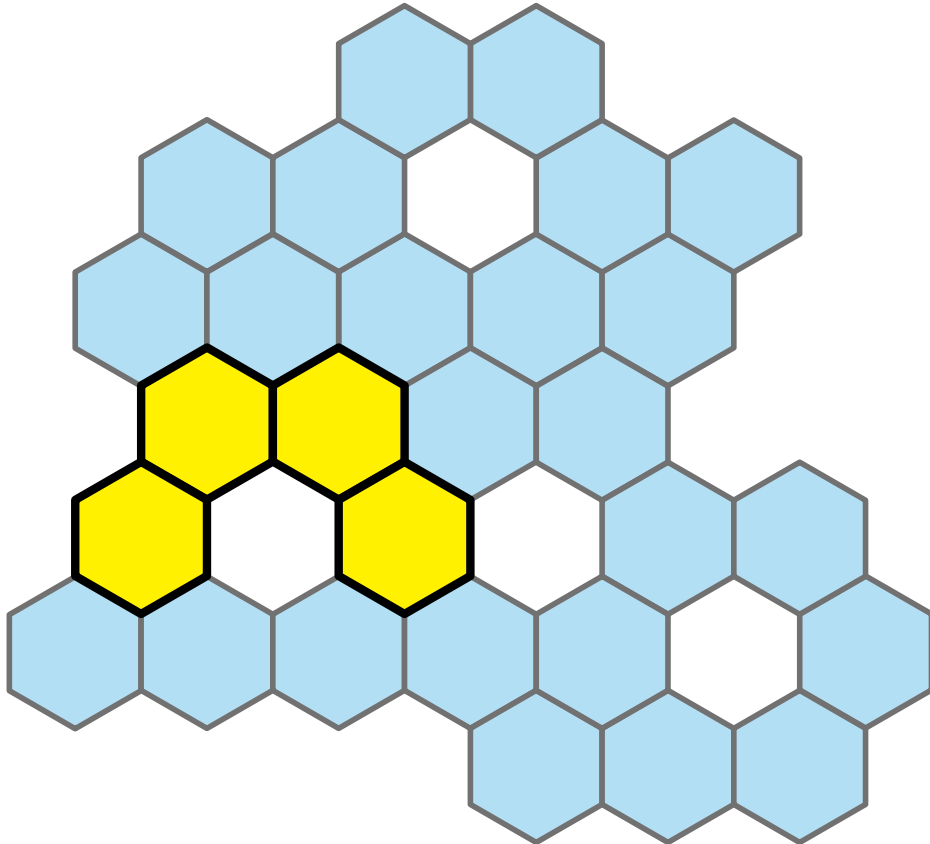
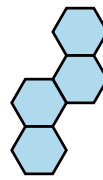
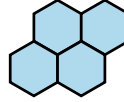
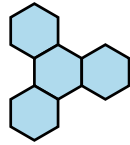
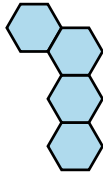
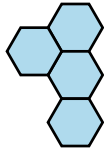
の組み合わせでできたパズルのピースが、7つあります。  
すべてのピースを使って下の形をつくりましょう。



解答はこちら！



### パズルのピース





# なぜとき



## たんたん探偵団



出題：山田 悠人 (シュート)

1

た	さ	か	あ
ち	し	き	い
つ	す	く	う
て	せ	け	え
と	そ	こ	お

③ むきはかえずにしきつめよう

①②③④ = ?

2

3

※ 1もじずついれてからみちびきだせ！

4

### 最終問題

3文字目をつなげると、最後の答えは…

① ② ③ ④ ① ②



# 職人の 無人島

レポート 33

社員開拓団④

「花まる子ども冒険島」開拓のため、カトパンに続いて広島に引っ越した職人。港がある安芸津町に新たな拠点もでき、ますます力が入ります。そんな2人の日々を、現地からレポートします。

さまざまな教訓を残しつつ5000ℓの水の輸送は完了した——そして開拓は続く。

次にライガーにやってみてもらったのは、草むしりである。え？ あんだって？ ええ、地味ですよ、地味。チミは地味だと思っかもしれないが、これがなかなかあなどれない。夏の無人島では、2〜3日もあればすぐに下草が伸びてきて地面を覆ってしまふ。「地面が覆われるくらい何でもないじゃん」と思われるかもしれない。甘いよ、チミ。下草がはびこると何が起きるか。たとえば蚊が多くなる、ムカデに気づけなくなる、落とし物が見つからなくなる、露で足元がびしょ濡れになる、などちよつといやなことがちよつとどころじやなく増えるのだ。これだけでもキャンプ生活の質は割と下がる。「じゃあじゃあ、除草剤とか撒いちゃえばいいじゃん」と思われるかもしれない。甘いよ、チミ。除草剤を撒けば何が起るか。安易に効率を求めた機械化が始まって、その先は拡大解釈の繰り返しで行き着く先はチミのいつもの都市生活だ。無人島の開拓は「できるだけの手でやる」ところに魅力がある。誰もが除草剤を撒くためではなく、自分の手で根を掘り起こし草を抜きたくて島を訪れる。「誰なんだチミは」と思われるかもしれない。なんだチミはってか。チェックメイトだ。

地味な作業を黙々と進めて夜。夕食のときのことだ。ライガーが「ぶっふるん」みたいな感じで荷物のなから新聞に包まれたお土産を取り出した。花まるの農業教育プロジェクト「みんなビレッジ」の畑で育てた採れたての野菜である。ニンニク、タマネギ、長ネギ。さすがライガー大先生。無人島味わい尽くしプランをすでに自分のなかで立てていたってわけだ。あたりはもうお手上げだよ。というニュアンスの微笑みを交わしてから「わっほーい」みたいな感じでニンニクとタマネギをアルミホイルで包んで焚火に放り込む。長ネギはカトパンがそのまま手に持って火であぶってくれた。ほどよく直火であぶられた長ネギから湯気と香りが立ちのぼり、焦げ目が美味を約束する。まるごと一本のネギを手で持つて、何もつけずにそのままかぶりつく。それが、このうえなくうまかった。ここ数年で一番うまいものを食べているという実感があつた。3人でずつと「うめー」だけで騒いでいた。そのとき「生きてよかったなあ」と声に出た。真さんによればこの瞬間が生きる意味だという。そっかもされない。いい夜だった。

こうしてライガーは開拓に、食に、遊びに、島を楽しむ尽くして帰っていった。それは、ライガーが島で何をしたいのかをはっきりさせていたからだと思う。島は我々に何も無い。こちらの好みに合いそうな提案をしてくるようなこともないし、

何とか気を引こうと煽り立ててくるようなこともない。現代のプロモーションについてどうこう言いたいわけではない。自然のなかでは、自ら楽しみを見出す力がたまた明らかになる、ということなのだと思ふ。

花まる学習会 橋本 一馬



島を楽しむ尽くしたライガー。遊んでいるのか、遊ばされているのか。普段の遊び方がカギになる。

無人島企画や最近の様子を配信中！ぜひ登録してね！



花まる子ども冒険島公式LINE

## カトパン 加藤 崇彰

花まる学習会 無人島プロジェクト責任者。学生時代から、花まるの野外体験に深くかかわってきた。現在は広島県へ移り住み、オンライン教室の教室長を務めながら、開拓団の受け入れや無人島開拓の準備を進めている。



## 職人 橋本 一馬

花まる学習会関西ブロック教室長。前職が家具職人だった経歴から「職人」のモデルネームを持つ。家具製作技能士、狩猟免許、ブッシュクラフトアドバイザーなど、ちょっと変わった資格や経歴を活かし、「メシが食える大人」に独自の視点でアプローチを行うことが好き。2022年から広島に移住し、無人島開拓に携わっている。ソロキャンプが趣味。







勝谷里美

花まる学習会の教室長を担当しながら、花まる学習会や公立小学校向けの教材開発や、書籍出版に携わる。現在は、小3・小1・2歳児の母として子育てに奮闘中。著書に『東大脳ドリルこくご伝える力編』『東大脳ドリルかんじ初級』『東大脳ドリルさんずう初級』（学研プラス）ほか



## 思いっきり遊ばせる、までの、母の葛藤

以前住んでいた家の前にあった、共同駐車場のスペース。そこは、アスファルトが平らではなく傾斜がついていくくぼみのある場所があり、雨が降ったあとにはとても大きな水たまりができました。

水たまり×子どもⅡばっしゅーんと、なりますよね。わが家も例にもれず、大きな水たまりができるや否や、当時保育園児だった長女、長男は二人とも、バシャバシャバシャと突っ込んで遊びたがっていました。

外遊びは大事。何かに夢中になれる経験も大事。(水たまり遊びなんて、子どものうちにしかできない、キラキラした原体験だ、どんどんやれー!)と応援したい気持ちもあるにはあるのですが、母親としては、「ちよっと待って……」とSTOPをかけたくなる気持ちもあります。

「遊ばせる」という判断をする前に、さまざまないメージが頭に浮かぶのです。

①いま(平日の夕飯前、泥だらけになったら、先にお風呂だよな。でもおなかも空いているから何かつまませてお風呂にすると、絶対夕飯は食べないで寝る前におなか空くパターン。このあとの、寝かしつけまでの生活リズムが全部崩れて大変だな……

②泥水だよなあ。雑菌をもらって、万が一風邪をひいて明日保育園を休むことになったらかわいそうだし、今週は仕事はかなり立て込んでいますから私も困るな……

③(〇〇さんの家は水たまりでバシャバシャ遊ばせて非常識だ)って、まわりの人から変に思われないかな……

母の強みの一つである、子どもに対するイメージ力。それがあがるゆえに、リスクも想像してしまい、なかなか「思いっきり遊ぶ」ということにGOサインを出せなくなってしまう自分があります。

最近、高濱が講演会で、人生の4つの落とし穴1.やらされ2.比較3.人目4.コンプレックスについて話すことがあります。

※詳しくは、2022年3月号の高濱コラムをお読みください。



子ども向けのメッセージではありませんが、読んでいくと親である私自身について、考えさせられることも多いなあと思います。今回で言うと、たとえば③のまわりから変に思われないかな、は、私自身が「人目」の落とし穴にはまっている状態です。

いろいろ考えすぎてしまっているときはシンプルに、【親である私は、結局、子ども時代に何を一番大切にしたいのか?】にしぼるのがいいのかもしれない。

——子ども時代に、何を一番大切にしたいのか?

各家庭で答えはちがうと思いますが、2024年の年始に改めて考えてみた結果、私の場合は「心の底からわくわくする原体験、遊び」だということに気がつきました。いろいろと欲張りしたい気持ちはありますが、何か一つと言われたならば、いまはそうなります。

なので、親の都合でいろいろ思うところはぐっとこらえて、大きい水たまりがあり、そこに子ども

も飛び込みたかったならば、そっと見守るスタンスでいくことにしたいと思っています。

花まる学習会 勝谷里美

### 四季の外遊び



『ピッキーとポッキー』  
あらしやまこうぞぶろう 文  
あんざいみずまる 絵  
(福音館書店)

春のお花がたくさん登場します! あさつゆで歯を磨いたり、すみれのサンドイッチがでてきたり、ちよっと不思議、でも楽しそう、どこか憧れる、そんな世界です。



『なつのいちにち』  
はたこうしろう 作  
(偕成社)

私にとっては、子どもたちを引率したサマースクールの記憶が空ありと蘇る一冊です。青い空と白い雲の下の子どもの笑い声は、何物にも代えがたい尊いものです。



『おおきな おおきな おいも』  
市村久子 原案  
赤羽末吉 作・絵  
(福音館書店)

雨の日、想像のなかの「おもいほり」の楽しさといったら……! 大人になって読むと、実際の外に行けなかったとしても「わくわくする原体験」は工夫次第だな、と気づかされます。



『とらたとおおゆき』  
ながわりえこ 文  
中川宗弥 絵  
(福音館書店)

長女が小さいときに、図書館で読み聞かせしてもらった本です。まだ大雪を見たことがなかった長女が「雪遊びって楽しそう……!」とずうずうしていたのを覚えています。





# おはなしの キッチン

vol.19



「ああ、いいよ」と、クリストファー・ロピンはいました。  
「どうもいいよ」と、クリストファー・ロピンはいました。  
そこでふたりは出かけました。  
ふたりのいったさきまでであるうと、またその途中にどんな  
ことがあろうと、あの森の魔法の場所には、ひとりの少年とそ  
の子のクマが、いつもあそんでいることしよう。  
(A.A.ミルン作/石井桃子訳「ブー横丁にたった家」岩波書店より)

イギリスの作家 A.A.ミルン (1892~1956) によつて  
生み出された、くまのブーさん。ミルンの実の息子である  
クリストファー・ロピンと、ぬいぐるみのクマである「ブー」、  
そして森の仲間たちが織り成すエピソードを子どもたちの感性  
のままに描いたこの物語は、時代や国境をこえて多くの人  
の心をつかんできました。

ミルンは息子ロピンが4歳のときにイギリスの片田舎  
ハートフィールド村に別荘を購入して、休暇のたびに家族  
と訪れていました。ロピンは毎回父親からプレゼントされ  
た動物のぬいぐるみたちを連れていったようで、ブーの  
物語はこうした背景で生まれたとされています。ハート  
フィールド村には、いまも「ブーの棒投げ橋」や「百町森」  
など、物語の舞台となった風景がそのまま残っています。

私も数年前にこの場所を訪れました。本当に、原作の挿  
し絵と同じ風景が広がっていて、まるで自分が物語の世界  
に入りこんだかのような不思議な感覚を覚えました。小高  
い丘の上から「百町森」を見おろしたときに自ずと思いた  
されたのは、大人へと成長していくクリストファー・ロピ

## PICK UP



『ブー横丁にたった家』  
A.A.ミルン 作  
石井桃子 訳  
(岩波書店)



『クマのブーさん』  
A.A.ミルン 作  
石井桃子 訳  
(岩波書店)



スクールFC  
平沼 純

「ブーさん」が生まれたイギリスでは、朝食のトーストや  
スコーンにぬったり、紅茶に入れたり、ハチミツは多く  
の料理に使われます。日本ではあまり馴染みがありません  
が、味をマイルドにするために肉料理に使うことも。ぜひ  
「百町森」の住人になりきって、自由な発想でハチミツ料理  
にチャレンジしてみてください。

「なぜ世のなかに、ミツバチなんかいるかっていえばだね、そりや、  
ミツをこさえるためにきまっているさ。」と、立ちあがる  
「それで、なぜミツをこさえるかっていえばだね、そりや、ほくが、  
たべるためにきまっている。」  
(A.A.ミルン作/石井桃子訳「クマのブーさん」 岩波書店より)

そんな「ブーさん」の物語にたびたび登場するのは、な  
んととっても彼の大好き物であるハチミツ。風船にぶら下がっ  
て木の上のハチミツを探りに行こうとしたり、つぼのなか  
のハチミツを平らげたりと、とにかくハチミツに目が  
ブーさん。

ンがブーに別れを告げる、物語のラストシーンです。時の  
流れとともに失われていく、子どもならではの感受性、子  
ども時代に誰もが持っていたはずの「魔法の時間」……。  
ミルンがこの物語にこめたそうしたメッセージが、現実の  
風景のなかではっきりと実感された瞬間でした。



## recipe

### 作り方

#### 材料

- バター……100g
- たまご 卵……2個
- きび砂糖……60g
- はちみつレモンのシロップ……50g
- はくりきこ 薄力粉……200g
- ベーキングパウダー……6g
- はちみつレモン……6枚

## ハニーレモンマフィン

作業時間: 30分  
(焼く時間は含まず) 難易度: ★★☆☆

レシピ・写真提供: 料理家 江口 恵子 (natural food cooking)

- ①ボールに卵を割りほぐし、きび砂糖を入れて少し白っぽくもったりするまで泡立て器でよく混ぜる。
- ②バターは600Wの電子レンジに約20秒かけて溶かすか、小鍋に入れて溶かしバターにし、①に注ぎ入れよく混ぜる。
- ③はちみつレモンのシロップを加えてさらによく混ぜ、ふるっておいいた薄力粉とベーキングパウダーを3回に分けて加え、その都度ゴムベラで切るようにサックリと混ぜ合わせる。
- ④マフィンカップに等分して入れ、はちみつレモンを1枚ずつ載せ、180度に予熱したオーブンで25分焼く。(トッピングのレモンは焦げやすいので、載せなくてもOK。小さいお子さまが食べるときは取り除いたほうが食べやすいです。)



## はちみつレモン

作業時間: 10分 難易度: ★☆☆☆

最近では皮まで安心して食べられる国産レモンが手軽に買えるようになりました。果肉の爽やかな香りとほんのりピターな皮の風味を味わってみてください。レモンは洗ってなるべくうすくスライスして重量を計る。容器に入れてレモンと同量のはちみつを注ぎ入れ、2~3日おく。冬から春は完成するまでは常温でOK。完成したら冷蔵庫へ。暑い時期は作ったらずに冷蔵庫に入れてください。はちみつが染みたレモンをそのまま食べるのも、シロップを炭酸やお湯で薄めて飲むのもおいしいですよ。



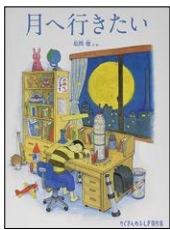
古舘千代美・政宗 / 小学4年生のときにつけられたあだ名は「忘れ物クイーン」。給食セット・体操着はもちろん教科書まで、毎日忘れ物をしていました。学年が変わっても誰かが「さすがクイーンだね」と言うことで、あだ名は継続されました。反省してもまた忘れるのですが、必ず誰かが助けてくれることに、甘えてもいました。





『キュリオシティ  
ぼくは、火星にいる』  
マーカス・モートン 作  
松田素子 訳  
渡部潤一 日本語版監修  
(BL出版)

「ぼくの名前はキュリオシティ。いま、地球からずっと遠いところにいる——。」2011年に火星探査機として打ち上げられ、翌2012年に火星に降り立ったキュリオシティ（「好奇心」という意味）。その製作過程や打ち上げの様子、火星探査の実際などをグラフィカルなイラストと明快な文章で描いた魅力的な一冊。巻末にはNASAの火星探査の歴史も詳しく紹介されています。



『月へ行きたい』  
まつおか 文・絵  
松岡徹 文・絵  
(福音館書店)

ある夜、一人の男の子が月を見上げながらあれこれと考え始めました。「月へはどうやって行くだらう？」思い切り高くジャンプする？ 巨大な橋を月まで渡す？ 風船で飛んでいく？ それとも……。地球から38万キロメートル離れた月へ行くための方法の一つひとつを具体的に紹介し、遊び心たっぷりに検証していくユニークな一冊。



『ママの火星探検記』  
もうり まもる 著  
毛利衛 著  
講談社

宇宙飛行士として二度宇宙へ行った著者によるサイエンス・ファンタジー。2033年の近未来、火星に到着した宇宙飛行士

たちが遭遇する数々の出来事を描きながら、新しい宇宙観、地球観、生命観が語られます。人はどこから来て、どこへ行くのか……？ 読後、壮大な時空のイメージに気の遠くなるような思いを抱くことでしょう。2012年に初演されて以降、再演が続く舞台も話題に。



平沼純の

Vol.53

～2024年宇宙の旅～



『うちゅうはきみのすぐそばに』  
いわけいすけ 文  
みねおみつ 絵  
(福音館書店)

自分たちが立っている地面から少しずつ空へ向かっていき、街や山々、海を見下ろすようになり、やがて宇宙空間へ……。一般的に、「宇宙」とは大気がほとんどなくなる「地上100キロメートルより上空」とされています。実は、東京駅から富士山よりも近い距離。いま自分のいる場所から宇宙までの距離感を体験できる、ユニークな科学絵本。これを読めば、宇宙が少しだけ身近になるかも？



『月へアポロ11号のはるかなる旅』  
ブライアン・フロッカ 作・絵  
日暮雅通 訳  
(偕成社)

1969年、人類初の月面着陸を果たしたアポロ11号の打ち上げから帰還までを描いた絵本。宇宙飛行士たちの旅をリアルに追体験できるとともに、詩的な文章で宇宙空間のはるかな広がりを感じられます。スペースシャトルの内部の様子も詳しく描かれていて、大人が読んでも興味深い内容です。



3月 (第10回)「子どもの本の未来 ～『これまで』と『これから』～」

時代とともに変わっていくものと、決して変わらないもの——。世界・日本における子どもの本の流れや最新の児童書を紹介しながら、改めて子どもの本の未来、物語に触れる喜びについて語ります。第1回と同じく、「おうち時間」にも生かせる工夫も豊富に紹介。1年にわたる講座のラストを飾る、「うれしくて楽しい」時間をお届けします！

3/14 (木)・3/16 (土) 10:30～12:00  
参加費 一家族 500円 (税込)  
申込締切 開催前日の19:00

<https://www.schoolfc.jp/extension/j-hiranuma/2023/>



## 目的を超えて

雪国スクールで出会ったAちゃん、小学校低学年の女の子です。その日は一日雪遊びの日。お昼ごはんを食べて休憩を取ったあと、「さあ遊びに行こう」という段になって急に「行きたくない」と言い出し、バスの前で石のように座ってしまいました。「どうして行きたくないの？」という問いかけにも答えてくれません。まだ自分の気持ちをうまく言葉で説明できないのでしょうか。論理的に説明する力に関しては、どうしても大人のほうに分かります。「理由を教えてください」と問い詰めてしまつてかえって心を閉ざしてしまいます。「休憩場所で休んでいてもいいから、とりあえず雪原までは行こう」という妥協案に渋々ながら納得してもらい、バスは出発しました。

バスに乗ってもAちゃんは不機嫌な顔をしています。「まあしかし、こういったこともいつかは笑い話になるんだろうな」と思つて私の心にも余裕が生まれ、その頑なな性格が彼女の長所のように思えてきました。大人を困らせてでも自分の意志を曲げようとしなかった姿勢は、いつか裏返って彼女の自信になるのでしょうか。雪原に着いてもしばらく不貞腐れた態度を取っていましたが、気がつけば楽しそつに雪の上を駆け回っているAちゃんの姿を見ることができました。

特に理由もないのに頑固な態度を取りたく

なる。こういった経験はきっと誰にでもあることでしょう。かく言う私自身も「どうして？」と親に尋問を受けながらも、うまく答えられずに口を固く結んでいた幼い日の記憶があります。「どうして？」と言われても自分でもよくわからない。「なんとなくいやだ」という些細な感情でしかなかったものが、追求されることでさらに強固になり、自分でもよくわからない「反抗のための反抗」のようになってますます引くに引けなくな

僕はもつと登りたいとは思うが、くのために登りたいとは思わない。(中略) 目的意識、これは行動の原動力ではなく方便だと思ふ。目的という理屈は、欲求のあとからついてくるものだ。」『山は輝いていた』編・神長幹 雄 新潮文庫)

命を懸け、自分の素直な気持ちと孤独に向き合い続けた人たちの言葉は、説得力があります。

「やりたくない」という気持ちに、それほど明確な理由がないことがあるように、「やりたい」という能動的な気持ちに明確な理由がないことも実際には多い

ものです。「なぜ山に登るのか？」という質問に対して、登山家ジョージ・マロリーが答えた「そこに山があるからだ」という有名なセリフも、マスコミを煙に巻くために放った言葉だとも言われています。同じ登山家であり、残念なことにマロリーと同じように山で命を落とされた中嶋正宏さんは、遺稿のなかでこのように書いています。

「目的、このこととだけだけの意味があるのか？」



雪のなかで遊ぶ子どもたちを見ていると、このことがよくわかります。雪と遊ぶ子どもは自由です。サクサクと深い雪を踏み分け、フワツと雪に寝転がる。誰かが雪玉を転がしてくれば、一緒に雪玉つくりに参加する。そこで「どうしてつくっているの？」と聞けば「雪

だるまが好きだから」と言つてもいいかもしれません。しかし本当の本当は欲求に従つただけで、聞かれたために理由を考え出したとも言えます。子どもたちは欲求に従い、無心に遊んでいるのです。

もちろん目的は大切で、特に人と一緒に仕事をやる場合は、それを明確にする必要はあるでしょう。仕事は「何となくやりたいのでやりましょう」では通じません。周囲を



山崎 隆 Yamazaki Takashi

東京東ブロック教室長。千葉県の内陸部出身。2歳上の姉と3歳下の弟と、だだっぴろい関東平野の片隅で育つ。小さい頃、外遊びはもちろんだが室内で遊ぶのも好きで、図鑑を開いては恐竜の世界を想像していた。高学年の頃より伝記を通して歴史に親しむ。休みの日には、青春18きっぷで目的もなく出かけることを楽しみにしている。

花まる学習会 山崎 隆

哲学者の國分功一郎さんは『目的への抵抗』(新潮新書)のなかでこのように書いています。

「人間の自由は、必要を超え出たり、目的からはみ出たりすることを求める。(中略)そこに人間が人間らしく生きる喜びと楽しみがあるのだと思います。」

そして「目的によって開始されつつも目的を超え出る行為」を「遊び」と言っています。子どもたちの遊びは、目的に縛られない広い視野を得るための訓練なのかもしれません。



こころと頭を  
同時に伸ばす  
幼児期の子育て

## Rinコラム

54

### マイナス思考は悪いこと？

**Q** 子どもがやったことや、学校でいただいた注意・指摘などを、ネガティブに受け止めてしまったとき、マイナス思考になって子どものできていないことばかりが目がいき、あれもダメこれもダメと、いい子像に矯正しようとしてしまい、ありのまま、そのまま素晴らしいと思えなくなっていました。ネガティブなとらえ方、マイナス思考に陥ったときに、プラスに転換するような秘訣がもしあればお聞きしたいです。

(3年生男の子のお母さまより)

**A** まず初めにお伝えしたいことは、プラスに転換しなければ、と思う必要はない、ということですね。

「自分はそんなふう感じたんだな」「人から言われたことで、余裕がなくなっているな」「そのまま素晴らしいと思えなくなっているな」という状態像／事実のみをまずそのまま受け止めます。この方の場合、そんな自分をメタ認知して、こうやって言葉にされています。そして、本当の彼の良さをちゃんと知っておられるのだなとわかります。

さてそのうえで、考え方の視点を変えたいというときにできることを考えてみましょう。物事の見え方をこれまでと異なるものに変えてみることを、心理学では「リフレーミング」と言いますが、多角的に物事を見るクセ、というのは実は訓練でもつけられます。

たとえば「あと5分しかないね」と「まだ5分もあるね」は、事実と同じですが、とらえ方が違います。

「～しかない」と思う人は、心配性でマイナスの要素を想定しやすく、慎重で、物事を計画的に考えることができる、危機管理能力に長けている人ともいえるでしょう。

「～も」ととらえる人は、足りない部分を想定しておかないといけないのに、大丈夫と思ってしまう、詰めが甘い人かもしれません。

どちらの性質がいいか悪いか、ということではなく、自分がどんなクセを持っているのかを知ることが大切です。

「失敗した」「挑戦した」に、「うまくいかなかった」「うまくいかなかった方法を見つけた」に、見方を変えると使う言葉が違ってきます。

「発想の転換(新しい見方に変えていく)」と似ていますね。

アート制作では、自分の思い通りにいかない葛藤体験、試行錯誤と子どもたちが向き合う場面が訪れます。

そんなときに「ああもうだめだ。先生これは失敗です」と諦めるのが、「もしかしら違う何かが生まれる瞬間かもしれない」と考えてみるのかでは、その後の選択肢が違ってきます。

いままでとは異なる別の見え方、考え方に変わる、ということには、保育士さんにもよくやってもらいます。

集中力があるからこそ、もうおしまいですよ、の言葉が耳に入らないかもしれない。おとなしい、は穏やか。すぐ怒るね、は感受性豊かなんだね。我が強い、は自分の意見を持っている。不器用、は真面目さや誠実さの裏返し。こう考えていくと「マイナス思考」をいけないことととらえる必要もない気がしてきます。

「こうあってほしい」「こうあらねばならない」というような、「ほかの人はどう思うだろうか?」ということを判断基準にしていると、他人の価値観に振り回されやすくなります。

「何が正しいか」「何が優れているか」と考えることは、いつまでも他人の目線や評価を気にし続けることとなります。大切なのは自分が自分の軸(感性)で決められると知っていること。

子どもは、きつかけさえ与えれば「ああでもある、こうでもある」と考える視点を自然と持つことができます。私はその特性にいつも驚かされます。

「こうでなければ」と一つだけの正解を求めがちな大人と違い、必ずしも答えは一つでなくてもいい、という視点は(本来誰にとっても大切ですが)人の気づかないところを掘り下げるものづくりにおいては必須の条件ともいえるのです。

わが子の性質を別の見方で表現してもらいたい、そんなときはぜひ教室長にも頼ってくださいね。

Rin (井岡由実)

## Atelier for KIDS 親子ワークショップ



全国から  
参加可能!

3/24 (日) 10:30~12:00 / 14:30~16:00 世界にひとつのフレーム制作

対象 年中~中学生とその保護者(子どものみでも参加可能)

定員 対面10組(お茶の水花まるラウンジにて)

オンライン5組(ハイブリッド開催)

参加費 対面1名3,000円/オンライン1名3,370円(郵送代込、いずれも税込)

申込期間 2/9(金)~3/6(水) 19:00 <https://www.hanamarugroup.jp/art-edu/news.php>



### Rin (井岡 由実)

花まる学習会取締役、「ARTのとびら」主宰。児童精神科医の稲垣孝氏とともに、心を病んだ青年たちへの専門的な対応に専心。花まる学習会年中・年長向け教材開発に携わり、冊子『1年生になる前に』では、幼児期に伸ばしたい能力や感性の教育について論じる。著書に『こころと頭を同時に伸ばす AI時代の子育て』(実務教育出版)ほか。

RinせんせいのSNSなど  
すべてのリンクは  
こちらから▶





# とある花まるの先生が、わが子の中学受験に直面した

その11

プチ振り返り…  
(6年生2月)



受験終了日翌日は晴れ。

「あー、全部片づけたい!」

と私の欲望が爆発。家のあちこちに散らばっている山のような参考書やプリントを、

「受験が終わったら、焚火ですべて燃やそう! (わが家の) お焚き上げじゃー!」

と息巻いていたのだが、ちゃんと調べてみたら、野焼きは法律違反…。たしかに煙や舞い上がる灰が迷惑か……。がっくりな気持ちで奮い立たせ、

ゲームにかじりつくSのお尻をけり上げて(比喩)、参考書やらプリントやらをすべて縛り上げ、マンションの古紙回収置き場へ往復させる。

そして、河川敷のデイキャンプエリアで焚火をした。炎の揺らめきを無心で眺めていると、ここ最近の緊張や疲れがじわじわとほどけていくようだ。2月にしては暖かい日差しと川の流れのきらめき、青い空に、つい目を細めてしまう。ほけーつとテトックスを味わう。子どもたちはサッカーをしたり、周囲を探検したり、焚火のための流木を集めたりとせわしないが、私はいつものように焚火の前を陣取り、動かない。火の番人はゆずれないのだ、完璧な焼きイモのために。

でき上がった焼きイモは自分史上最高のウマさ。石焼きイモにも負けない、ねっとりとした甘み。ドヤ顔で、Sに振る舞いながら、合間にプチインタビュウをする。

「Sにとって、どうだった、受験? なんだかんだ最後までやったけど」

「えー…だるかった」

「はい!」

「えー…だつてさ、復習とかさあ。復習とかがなければ楽しいよ。新しいことを習うのは楽しいからさ。でも過去問もそうだけど、何回も同じこと

やるのは……」

(いやいや、受験は完成度を上げるのが大事なんだよ。最後までこのマイペースぶりと、精神的な幼さは影響したなあ。でもまあ、学びを嫌いにならなかったのなら結果オーライか。)

「受験して、成長したなあと思うところはあある?」

「うーん…考えなしにはほーつとすることがなくなったかな」

「うん? どういう意味?」

「考えたうえでほーつとするようになったり、やるべきことが終わってからはほーつとするようになったりした。あと字が少しきれいになった」

「そつなんだ」

(自分なりに時間を決めて動けるようになったということかな。子どもがほーつとする時間も創造性にとって大事だと言うし。もつとほかに成長点はないのかと言いたい……。)

「自分のなかで、勉強へのやる気スイッチが入ったのはいつ?」

「夏ぐらいかな」

「え、うっそ、まったく気がつかなかった……」

「いや、それまでよりはちゃんとやるようになったよ。量も増えたし」

「うーん、そつが。復習ノートを自主的にやりはじめた1月末かと思つたけど、本人にとっては違うのか……。」

さて、2月9日の都立発表は残念な結果だったが、記念受験なので想定通り。夫とSと話して、進学は最初に受験するきっかけとなった、緑のある学校に決めた。Sとの相性と、家からの近さを考えて。そこから2〜3月は止まっていた時間が動き出すかのように、休日に予定が入りまくる。

## 家族構成



私

東京都内の私立中高一貫女子高出身。ぐんぐん育ちゆく長男と甘えん坊次男に振り回される日々。子どもたちが巣立ったあと夫婦関係に、一抹の不安を感じている……。最近「喧嘩するほど仲がいい」と聞き直るしかないのかなと思っている。



夫

地方の公立校出身。結局Sが受験したのは全部で5校。どの学校もそれぞれに特色がある、ステキな学校だった。Sの2月1日校が残念だったことに納得がいかないようで、受かると思ってたんだけどな〜と、こっそり「たられば」を私にこぼす。



長男 S

中受の受験率は7割、進学率は5割程度の地域に住んでいるが、お友達が進学する学校の情報を何一つ正確に持ち帰ってきてはくれない、のんびりマイペース屋。たまに聞いてきたと思いきや、学校名が違っている……。私のママ友情報網は狭いんだから、本当にお願ひしますよ、もう……。



次男 Y

保育園児。2月のバタバタのなかで、同級生の子から手作りチョコレートもらう。「わ、1か月後のお返しどうしよう!」と頭がいっぱいの母を横目に、ひとりじめして瞬時にチョコを食べつくす、スイーツ男子。

諸々の学校の手続き、入学説明会、仲のいい友達との受験お疲れさま会、祖父母×2との受験お疲れさま会、早めの謝恩会、お礼参り、次男Y待望の家族のお出かけ×2、卒業式、卒業旅行、最後の雪国スクール、入学準備……。

タスクが山積みで、ゆっくり振り返るヒマもないくらい慌ただしいが、直前のコンディショニングからは、2月校全落ちも覚悟していたので、母の奥底の本音は、ただ一つ。「朝から夫婦喧嘩しちゃうた日に受かってくれて本当にありがとう……。S、よく頑張った!」

花まる学習会 川波朋子

深夜1時頃、LINEにメッセージが届きました。「誰だろう、こんな夜中に」と思いながら携帯電話に手を伸ばしたところ、画面上に「サマーのリーダー応募は一般のところからいいんですか？」と用件だけ書かれたメッセージが見えました。送り主は教え子のKくん。一年ぶりに連絡をくれましたが、あまりにも不躰な用件だけのメッセージと常識を逸脱した時間の連絡に眠気も吹っ飛び「これは叱りつけなければ気がすまん！」とLINEを開きましたが……。メッセージの送信が取り消されていました。数分後、改めてメッセージが届きます。

お久しぶりです。カナダでの生活もあと3週間になり、充実した留学生活を送っています。あと、サマーのリーダーをやるとしたら応募は一般のところからいいんですか？

「そういうところ」には昔からうるさかった私の顔を思い出したのでしよう。慌てて送信を取り消し近況の報告を加えて再送してきたKくん。「まあ随分しっかりしたな」と微笑ましくなりました。

さて、連絡をくれたKくん。高校2年生まで私立高校普通科に通っていたのですが、3年生になるタイミングで同校の

通信コースに移りました。卒業単位は通信でもとれると判断し、2021年9月からカナダへ留学することを前提とした編入です。当時お母さまからは相談を受けていましたが、ご家庭の事情が許すならば行かせてもいいのでは、と私もあと押ししました。

カナダへ渡ったのちにラグビーを始め、某州で3位になったときの写真を送ってくれました。屈強そうな面々のなかで見劣りするどころか、一際大きな体躯のKくんが写真のど真ん中に、自信に満ちあふれた表情で写っています。ここだけ切り取ってみれば、自分で生きる道を切り開いていく魅力的な若者です。

しかし私が彼を担当していた小学校低学年時代は、もう悪童そのものでした。授業態度は悪く、気に食わないことがあればすぐに手が出てしまう。人のいやがることも、自分が楽しければ躊躇なく実行する。強いストレスからチック症状が出ている。そんな子でした。また、当時のお母さまの口癖は「本当に産まなきゃよかった」。それはあまりにも彼が不憫だと思いい「冗談でもそんなことは言っていないじゃないですよ」と諭しても、「先生、冗談じゃないですよ。本当に……」と感情を出す気力すらない状態。そうやって

## 花まるコラム

2024年2月

しまうお母さんをまず支えなくては大変なことになる予感すらしました。

転機が訪れたのは、「うちの子を行かせたら迷惑しかけない」とずっと躊躇していたサマーズクールに、意を決して送り出してくれた3年生の夏です。2泊3日を過ぎて帰ってきたKくんのチック症状が治まっていたのです。解散地での、初めて見た憑き物がとれたような屈託のない笑顔と、「楽しかった〜」という言葉。トラブルというトラブルもなく、班の仲間といい時間を過ごせたのです。そして、何よりKくんがいない夜を2日過ごせたお母さんが相当リフレッシュされたようでした。「お母さんと距離を置く機会を定期的に作ること」ここに望みをかけました。4年生、5年生と雪国スクール、サマーズクールへの参加を重ねていくたびに、彼の体と心に血がめぐり、子どもらしい瑞々しさを取り戻していく様子がはつきり

わかります。その後、地元中学校には進学したくないという彼の希望とご両親の決断で中学受験に踏み切ります。苦闘が続くなかご両親が「この校風がいい」と一つの私立中学校に絞ったことが奏功し、良縁が得られます。進学先の学校では中学2年生の夏に必ず短期留学をするのですが、Kくんはこのときにそれ

までの不勉強を痛切に感じ悔しい思いをしたことを吐露していました。折角の機会だったのに同級生との時間に逃げてしまった。そんな後悔をもうしたくないから一人でやれるところまでやってみようということが留学の動機です。その留学も6月末に修了し、今度はマレーシアの大学への進学を目指すそうです。

メシが食える大人への階段を順調にぼっているKくん。この夏、昔の自分に重なる子どもとの出会いがおそらくあると思います。そんな子に寄り添い道標になってもらいたいと願い、サマーズスクールでの再会を約束しました。

花まる学習会 相澤樹



はな まるのきょうしつちょうをしょうかいします！

# はな まるファミリー

🌐…オンライン

🍷…アルゴクラブ

🎵…アノ音楽教室

🌴…無人島

⚽…スクールFC

🌱…フロス

🌸…英語花まる

みんなのきょうしつちょうもじゅんばんにしょうかいするよ。おたのしみにも！



**まりん**  
いでの まり  
**出井 真理**  
東京東 栃木県



**ちまっぼ**  
いとう けんご  
**伊藤 健吾**  
千葉 千葉県



**まいまい**  
いとう まい  
**伊藤 真衣**  
関西 愛知県



**おっく**  
おくにし ゆき  
**奥西 裕希**  
東京西 埼玉県



**マミー**  
かまたけ まみ  
**上武 美貴**  
埼玉 神奈川県



**ワンダー**  
かわむら ゆうしゅん  
**川村 優駿**  
中京 北海道



**のぼる**  
こがわ りん  
**古川 凜**  
オンライン 岩手県



**ワッキー**  
こじま たけし  
**小島 健**  
東京東 アルゴ 神奈川県



**せなぴー**  
とよだ せな  
**豊田 星那**  
埼玉 埼玉県



**ぴっぴ**  
ながしま みゆ  
**永嶋 美佑**  
東京東 FC 埼玉県



**はちちゃん**  
はら みお  
**原 実緒**  
中京 岐阜県



**おっちゃん**  
ひろおか じゅん  
**廣岡 純**  
関西 兵庫県



**みっふい**  
やたがわ みふゆ  
**谷田川 美冬**  
埼玉 東京都



**ダイガー**  
やまぐち たいが  
**山口 大河**  
埼玉 埼玉県




**ソバト**  
わたなべ みなみ  
**渡邊 みなみ**  
千葉 千葉県



**まんまん**  
たかはし まさとし  
**高濱 正伸**  
リーダーネーム  
名前  
所属  
出身地  
熊本市



**レインボ**  
かとう たかひろ  
**加藤 崇浩**  
スクールFC  
北浦和校 校舎長  
334. 塾人に聞く  
(2024年2月)



**だんざー**  
すずき ひさゆき  
**鈴木 久幸**  
スクールFC  
あざみ野校 校舎長  
328. 塾人に聞く  
(2024年1月)

**出張!**  
FC  
ファミリー

インタビューを  
ラジオでお届け!



▲Voicy/幸せな受験ラジオ

サマースクールや雪国スクールで会おうね!

2月の誕生花は **フリージア**



高濱が、花まる教室長をちょっとおちゃめに紹介する新コーナー！自己紹介ならぬ他紹介で、花まるの仲間たちを一年かけてまるっと紹介しちゃいます。どうぞお楽しみに!